

2020年7月1日から2025年3月31日までに
NST（栄養サポートチーム）をはじめとする多職種連携医療の対象となる入院患者さんへ
「多職種連携チーム医療における動画資料を用いた口腔環境評価の有用性の検討」
へのご協力をお願い

（1）研究の概要について

承認番号： 第 D2021-109 番

研究期間： 歯学部倫理審査委員会承認後から2025年3月31日

研究責任者：東京医科歯科大学病院義歯科（高齢者歯科学分野） 特任助教・鈴木啓之

<研究の概略>

すべての患者さんに NST 等による多職種連携チーム医療の対象患者さんに対して歯科が介入することは困難であることが現状です。もしお口の中を撮影した動画を用いて評価することが可能となれば、歯科の介入を必要とする患者さんをより多く見つけ出すことにつながると考えられます。この研究は、チーム医療の対象患者さんのお口の中を撮影した動画上でも直接お口の中を評価するのと同等の評価が可能であるかを調査します。

（2）研究の意義・目的について

NST（栄養サポートチーム）などの多職種連携医療の対象となる入院患者さんでは、義歯や口内炎、咀嚼や飲み込みの障害など、お口の問題が生じやすく、多職種連携医療への歯科の参加の必要性が高いことが少しずつ明らかになっています。さらに、そうした問題に歯科が対応し、食べる機能を支援することで、栄養摂取状態の改善や、安全に無理せず食べる楽しみを維持することができると考えられています。しかし、医科歯科連携において大きな役割を担うはずの大学病院などに附属する歯科においては、マンパワーの不足により NST への参加は限局的であることが多いことや、昨今の COVID-19 流行などにより、病棟への入室制限がなされた状況下では、ベッドサイドにて直接患者の口腔内診査を行った上で、適切な口腔環境の評価や管理を実施することは困難な場合が多いことから、限られた医療資源を有効に活用できるようなシステムの確立や、遠隔においても適切な口腔環境の評価を実施でき、必要な歯科介入を提供できるようなシステムの確立が求められています。このようなシステムの確立には口腔内を撮影した動画資料の応用が効果的であると考えられますが、NST などの多職種連携チーム医療における動画資料を応用した口腔環境評価の有用性については不明な点が多いのが現状です。そこで本研究では、東京医科歯科大学病院の多職種連携医療である NST の対象患者さんについて、ベッドサイドにて歯科医療従事者が直接実施したお口の環境評価と、患者さんのお口の中を撮影した動画上で実施したお口の環境評価の両者を比較検討することにより、動画資料を応用した口腔環境評価の有用性の検討を行うことを目的としました。

（3）研究の方法について

調査の対象となるのは、2020年7月1日から2025年3月31日までに NST 等、多職種連携医療の対象となった、東京医科歯科大学病院の患者さんの診療記録およびカンファレンスの記録

です。なお、記録はすべて匿名化した上で、以下の情報を収集します。

主な情報収集項目：性別、年齢、入院前の居住形態、社会福祉的支援の有無、原因疾患、併存疾患、多職種連携チーム介入理由、血液検査値、尿検査値、画像検査結果、身体測定値、リハビリの状態、せん妄の有無、口腔機能・摂食嚥下機能、口腔内撮影動画 等。

(4) 試料等の保管と、他の研究への利用について

データの記録は、匿名化されて行われ、データは研究責任者が 10 年間保管します。他の研究で用いることはありません。

(5) 予測される結果（利益・不利益）について

この研究では、診療記録を匿名化して観察する方法を用いますので、研究の対象となることでの利益や不利益はありません。

(6) 研究協力の任意性と撤回の自由について

この研究は、過去の記録や検査結果のみを利用しますので、書面による同意はいただくずに、この掲示によるお知らせをもって実施されます。ご自分の診察結果や検査の結果が、匿名であっても、この研究で用いられることを希望されない方は、遠慮なくお申し出下さい。今回のお願いに対して同意をするかどうかは患者さんの自由意思であり、希望されない場合は参加されなくても問題ありません。また、参加後のいずれの時期においても中止することができます。その場合のデータは全て削除します。不参加・中止の場合においても、診療における不利益を含め、不利益になることは一切ありません。

(7) 個人情報の保護について

この研究で得られるデータは、匿名化されており、また、分析に関与する関係者のみで処理して厳重に保管され、個人情報が公表されることはありません。

(8) 研究に関する情報公開について

この研究の成果については、医療への貢献のため、関連の学会や雑誌にて発表します。その際にデータを提示することはありますが、氏名などの研究参加者が特定されるような個人情報が公表されることはありません。

(9) 費用について

この研究の参加のために、研究参加者の方に生じる費用負担は一切ありません。また、研究参加に関する謝礼はありません。

(10) 研究資金および利益相反について

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係

はありません。この研究の実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会に申告を行い、承認されています。なお、利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

(11) 問い合わせ等の連絡先：

東京医科歯科大学大学病院義歯科（高齢者歯科学分野） 特任助教 鈴木啓之
〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45 TEL 03-5803-5583
（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

東京医科歯科大学大学院 高齢者歯科学分野 教授 水口俊介
〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45 TEL 03-5803-5582
（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情窓口：東京医科歯科大学歯学部総務係
03-5803-5404（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

※他の研究参加者の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができます。ご希望の際は、上記の研究者連絡先までお問い合わせください。